

POWER TO EXPAND TO THE FUTURE

68

株主の皆様へ

第68期 中間事業報告

平成25年12月1日 ⇨ 平成26年5月31日



大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

<http://www.ooc.co.jp/> 証券コード 4187

株主の皆様へ

TOP MESSAGE

C O N T E N T S

01	株主の皆様へ
03	TOPICS
05	売上高の構成(連結)
06	事業フィールド
07	中間連結貸借対照表
08	中間連結損益計算書、 中間連結キャッシュフロー計算書、 業績の推移
09	会社概要
10	株式の状況
11	株主メモ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のご支援、ご指導を賜わり有難く厚く御礼申しあげます。

第68期上期(平成25年12月1日から平成26年5月31日まで)の決算を行いましたので事業の概況についてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により一部で弱い動きがみられるものの、各種政策の効果などを背景に、設備投資の増加や企業収益の改善が継続し、景気は緩やかな回復基調をたどっております。しかしながら、海外景気の下振れが、引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなり、先行きの不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下で当社グループは、持続的成長のための安定収益基盤である化成品事業においては、主力のアクリル酸エステル生産性向上によるコストダウンと海外市場への拡販強化を目指し、安定した高収益性確保のための電子材料事業においては、海外展開の強化によるシェア拡大と次世代材料開発に注力し収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は113億7千9百万円（前年同四半期比1.2%増）、営業利益は6億3千5百万円（前年同四半期比12.8%増）、経常利益は6億7千万円（前年同四半期比0.4%増）、四半期純利益は4億1千9百万円（前年同四半期比6.3%減）となりました。

配当金につきましては、長期的な観点に立ち財務体質と経営基盤の強化を図るとともに株主の皆様への利益還元を経営の重要政策として位置づけ、会社の業績や今後の事業計画に備えた内部留保等を勘案してバランスをとりつつ決定しており、平成26年11月期におきましては当初の予定通り中間配当を5円とさせていただきます。また期末配当につきましても、5円（年間10円）を予定しております。

当期の見通しにつきましては、緩やかな景気回復の動きが持続することが期待されるものの、海外経済の先行きの不確実性は引き続き大きく、今後も不透明な状況が続くと予想されます。

このような情勢の下、当社及び子会社といたしましては、安全確保を第一に、製品の徹底した品質管理と生産コストの削減や環境保全に努め、業績の更なる向上を目指して新規製品の開発・販売に全社を

挙げて取り組んでいくとともに、引き続き大阪工場の再整備計画を進め、全社での製品生産体制合理化の強化を図り、一層の財務内容の健全化を進める所存であります。

現時点での通期の連結業績見通しは、売上高230億6千4百万円、営業利益12億5千万円、経常利益13億6千2百万円、当期純利益8億3千1百万円を予定しております。

株主の皆様におかれましても、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年8月

取締役社長 鎮目 泰昌



❖ 電子材料事業 (ArFレジスト用モノマー) の強化

～アダマンタン誘導体事業の譲り受け～

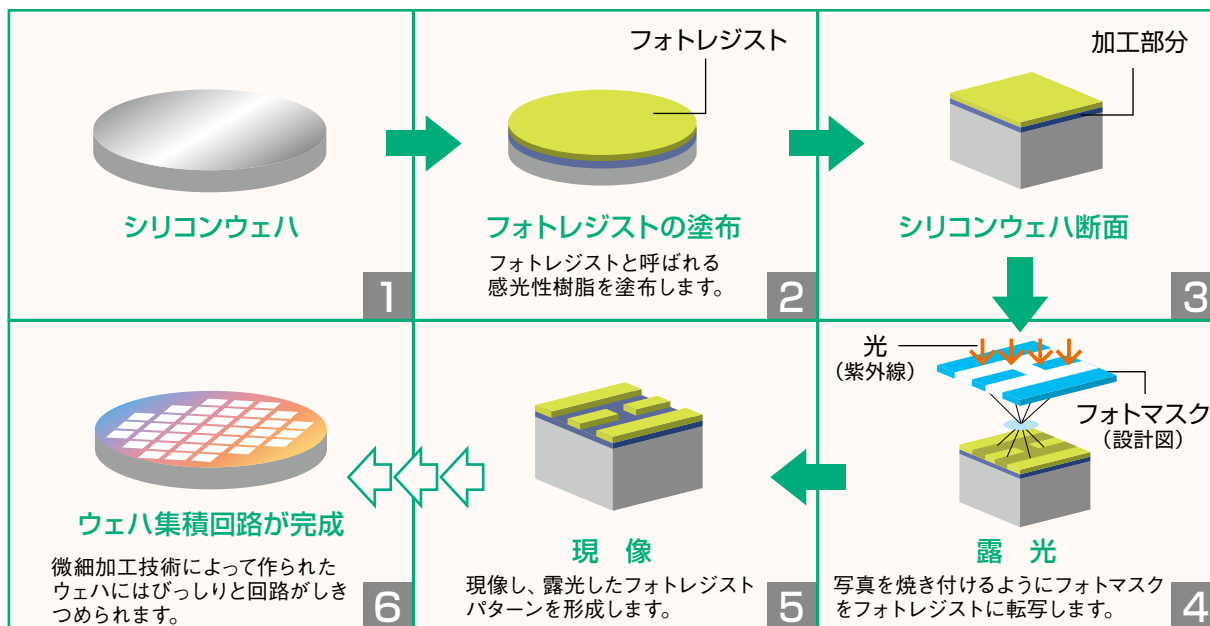
当社は、約20年前からArFレジスト用モノマーの開発に着手し、幅広いラインナップを取りそろえ、現在この分野において高いシェアを誇り、電子材料事業の主力に成長しております。今回、出光興産株式会社（本社：東京都千代田区）よりアダマンタン誘導体事業を平成26年5月31日付で譲り受けました（譲受価額：12億円）。

本事業は、出光興産株式会社で「アダマンテート」シリーズとして販売していたArFレジスト用モノマーで、半導体製造工程でフォトレジストの原料となります。当社では電子材料事業の一角である半導体材料グループのラインナップ

を拡充し、お客様に充実した製品群を提供するとともに、両社で重複していた一部の製品を統廃合することにより、合理化を図ることが可能になります。

今後とも、品質及び品質管理の強化を通して、お客様からの品質に対するさらなるご要望を満たしながらも、価格への転嫁を最小限に抑え、「高品質モノマーの適正価格での提供」という形でArFフォトレジスト業界全体の発展に貢献していく所存であります。

▶ 半導体製造工程におけるフォトレジストの役割



❖ 4-HBAの工業化技術が「平成26年度工業技術賞」を受賞

平成24年に当社酒田工場（山形県飽海郡遊佐町）に完成した4-ヒドロキシブチルアクリレート（商品名：4-HBA）の製造プラントでは、従来の製法を改良することで、より環境に配慮した技術を取り入れた新製法となっております。この度、この新製法が、社団法人大阪工研協会の「平成26年度工業技術賞」を受賞し、5月16日に授与式が行われました。

4-HBAは、主に自動車用塗料等に使われる化成事業の主力製品であるアクリル酸エステルの一つです。新製法（エステル交換法）は、製造工程で使用する触媒・溶媒・原料等のうち、回収して再使用ができるものは極限まで再使用することを目指した製法であり、これにより廃棄物をほとんど無くすることができま。今回の受賞により、平成24年度の副生油処理システム、平成25年度の超親水性コーティング材に続き3年連続の受賞となります。



工業技術賞 賞状



酒田工場 4-HBAプラント



平成26年度工業技術賞授与式

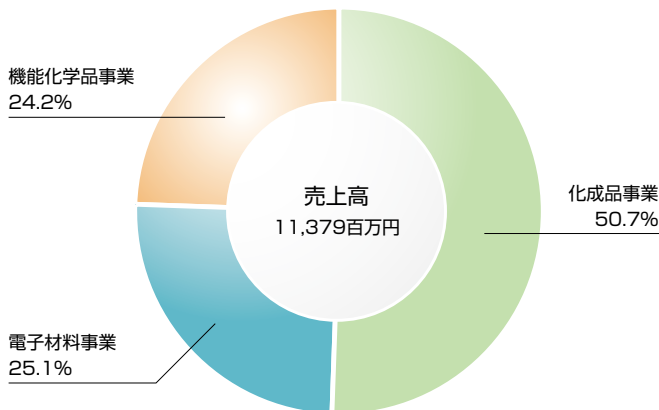
❖ 株主アンケートご協力のお願いとメール配信サービスのお知らせ ❖

株主の皆様のご意見・ご要望を今後の経営やIR活動の参考にさせていただくため、本「第68期 中間事業報告」にアンケートはがきを同封しております。お手数でございますが、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

また、決算発表やニュースリリースなどの情報をメールで配信するサービスを始めました。

当社ホームページ <http://www.ooc.co.jp/> からご登録できますので、よろしくお願いいたします。

連結



連結経営成績

化成事業

主要製品: ●自動車塗料・建築材料等塗料 ●光ファイバー被覆剤 ●下水処理剤 ●紙力増強剤 ●アクリル酸

化成事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、自動車塗料樹脂関連の販売が好調に推移し売上高は増加いたしました。メタクリル酸エステルグループは、販売が低調に推移いたしました。しかしながら、設備投資の償却負担の減少によりセグメント利益は増加いたしました。この結果、売上高は57億6千8百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益は1億8千2百万円（前年同四半期比27.2%増）となりました。

電子材料事業

主要製品: ●液晶材料 ●半導体材料

電子材料事業におきましては、表示材料グループは、液晶パネル関連業界の需要が低調に推移し売上高は減少いたしました。半導体材料グループは、販売が好調に推移し売上高は増加いたしました。また、売上高の増加に伴いセグメント利益は増加いたしました。この結果、売上高は28億5千2百万円（前年同四半期比10.3%増）、セグメント利益は3億9千万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。なお、平成26年5月31日に出光興産株式会社のアダマンタン誘導体事業を譲り受けいたしました。当該事象によるのれんの増加額は7億9千6百万円であります。

機能化学品事業

主要製品: ●化粧品原料 ●医薬中間体 ●溶剤、その他

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、国内化粧品市場が低調に推移し売上高は減少いたしました。機能材料グループ（医薬中間体、その他）は、撥材や特殊溶剤の販売が堅調に推移し売上高は増加いたしました。しかしながら、利益率の高い製品比率の減少によりセグメント利益は減少いたしました。この結果、売上高は28億9百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は6千8百万円（前年同四半期比11.0%減）となりました。



自動車塗料



ヘアースタyling剤

● 化成事業

アクリル酸エステル
メタクリル酸エステル
アクリル酸

塗料、粘接着剤
インキ用樹脂原料



インキ・粘接着剤

● 機能化学品事業

化粧品基材
医薬中間体
その他



医薬中間体



● 電子材料事業

表示関連材料
半導体関連材料



液晶テレビ



半導体

中間連結貸借対照表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 26.5.31現在	前中間期 25.5.31現在	前 期 25.11.30現在
(資産の部)			
流 動 資 産			
現金及び預金	4,018	4,171	4,377
受取手形及び売掛金	7,351	6,205	7,081
有価証券	401	453	-
製品	2,509	2,005	2,329
仕掛品	911	929	846
原材料及び貯蔵品	1,306	763	761
繰延税金資産	149	143	151
その他	149	42	93
貸倒引当金	△ 10	△ 8	△ 9
流動資産合計	16,787	14,707	15,632
固 定 資 産			
有形固定資産			
建物及び構築物	5,059	5,317	5,113
機械装置及び運搬具	2,134	2,374	2,052
土地	2,290	2,290	2,290
建設仮勘定	560	4	244
その他	285	275	287
有形固定資産合計	10,330	10,262	9,988
無形固定資産			
のれん	782	-	-
その他	188	240	213
無形固定資産合計	971	240	213
投資その他の資産			
投資有価証券	4,452	4,239	4,872
長期預金	-	200	-
保険積立金	260	255	261
その他	289	210	347
投資その他の資産合計	5,002	4,905	5,480
固定資産合計	16,304	15,407	15,683
資産合計	33,091	30,115	31,315

科 目	当中間期 26.5.31現在	前中間期 25.5.31現在	前 期 25.11.30現在
(負債の部)			
流 動 負 債			
支払手形及び買掛金	5,388	3,502	4,238
短期借入金	10	30	10
1年内返済予定の長期借入金	97	564	270
1年内償還予定の社債	60	160	110
未払金	1,534	672	883
未払法人税等	253	208	282
役員賞与引当金	21	20	33
その他	682	657	570
流動負債合計	8,048	5,814	6,399
固 定 負 債			
社債	-	60	30
長期借入金	203	197	205
繰越税金負債	360	322	391
役員退職慰労引当金	512	493	510
固定資産撤去損失引当金	280	280	280
その他	217	262	250
固定負債合計	1,575	1,616	1,667
負 債 合 計	9,623	7,430	8,066
(純資産の部)			
株 主 資 本			
資本金	3,600	3,600	3,600
資本剰余金	3,680	3,680	3,680
利益剰余金	15,049	14,360	14,744
自己株式	△ 3	△ 3	△ 3
株主資本合計	22,326	21,637	22,022
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	928	833	1,012
為替換算調整勘定	△ 5	-	-
その他の包括利益累計額合計	923	833	1,012
少数株主持分	217	214	214
純資産合計	23,467	22,684	23,248
負債及び純資産合計	33,091	30,115	31,315



中間連結損益計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書、業績の推移

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	25.12.1より 26.5.31まで	24.12.1より 25.5.31まで	24.12.1より 25.11.30まで
売 上	11,379	11,245	22,559
売 上 原 価	8,962	9,024	18,041
売 上 総 利 益	2,416	2,220	4,518
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,781	1,657	3,333
営 業 利 益	635	563	1,185
営 業 外 収 益	62	112	195
営 業 外 費 用	27	7	14
経 常 利 益	670	667	1,366
特 別 利 益	8	-	-
特 別 損 失	1	1	7
税金等調整前四半期(当期)純利益	677	666	1,359
法人税、住民税及び事業税	242	197	415
法人税等調整額	9	12	△ 12
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	425	456	956
少 数 株 主 利 益	6	9	9
四 半 期 (当 期) 純 利 益	419	447	946

中間連結キャッシュ・フロー計算書

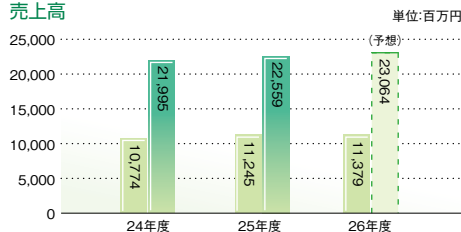
(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	25.12.1より 26.5.31まで	24.12.1より 25.5.31まで	24.12.1より 25.11.30まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,360	1,764	2,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,298	△ 702	△ 774
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 417	△ 606	△ 1,154
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	△ 359	454	666
現金及び現金同等物の期首残高	3,747	3,080	3,080
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,388	3,535	3,747

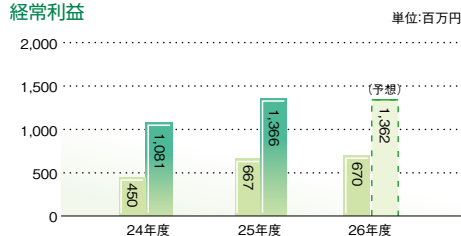
業績の推移

■ 中間期 ■ 通期

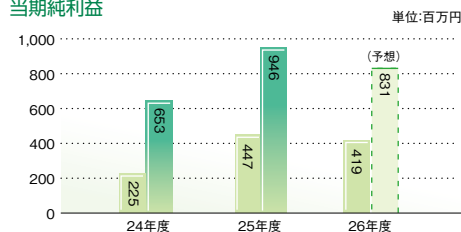
売上高



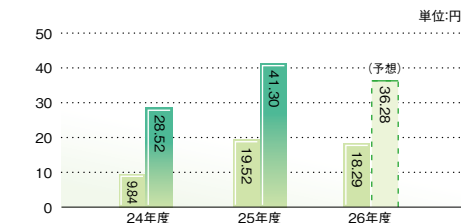
経常利益



当期純利益



1株当たり当期純利益



会社概要

● 会社概要 (平成26年5月31日現在)

商号	大阪有機化学工業株式会社
設立	昭和21年12月21日
資本金	3,600,295,546円
発行済株式総数	22,937,038株
株主数	3,667名
従業員数	376名
主な事業内容	各種エステル化製品、有機合成品、特殊化学品等の製造及び販売



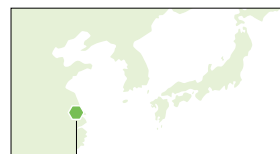
本社



東京オフィス

● 本社及び事業所

本社	大阪市中央区安土町1丁目7番20号 TEL.06(6264)5071
東京オフィス	東京都中央区日本橋本町1丁目7番2号 TEL.03(6202)7051
大阪工場	大阪府柏原市片山町18番8号 TEL.072(978)6261
金沢工場	石川県白山市松本町1600-1 TEL.076(276)6261
酒田工場	山形県飽海郡遊佐町藤崎字茂り松157番23 TEL.0234(71)5721
八千代事業所	千葉県八千代市大和田新田601番地 TEL.047(459)1271



光碩(上海)化工貿易有限公司



● 子会社

本社		〈中国〉	
会社名	神港有機化学工業株式会社	会社名	光碩(上海)化工貿易有限公司
住所	神戸市東灘区住吉浜町18番地の26	住所	上海市長寧区延安西路2299号1602室
資本金	55,000千円	資本金	210,000千円
従業員数	36名	従業員数	4名
事業内容	酢酸エステルの製造販売	事業内容	有機化学薬品関連商材の貿易・販売等

株式の状況

役員および理事 (平成26年5月31日現在)

取締役社長	鎮目 泰昌
常務取締役	上林 泰二
常務取締役	林 優司
取締役	白築 良
取締役	鎮目 清明
取締役	松永 光正
取締役	永松 茂治
取締役	安藤 昌幸
取締役	国宝 栄子
社外取締役	安原 徹
専務理事	相原 福雄
常務理事	山田 光信
理事役	岡本 博
理事役	野口 英志
理事役	吉田 和義
理事役	大引 明
常勤監査役	伊田 忠夫
社外監査役	吉村 勲
社外監査役	檜山 洋子

会計監査人 (平成26年5月31日現在)

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の状況 (平成26年5月31日現在)

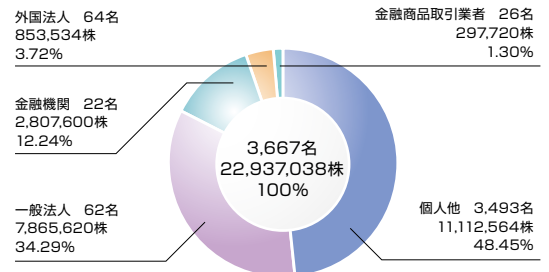
発行済株式総数	22,937,038株
議決権総数	229,211個
株主数	3,667名

大株主

株主名	当社への出資の状況	
	持株数	出資比率
WesternRedCedar株式会社	1,080千株	4.71%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	937	4.09
三菱レイヨン株式会社	928	4.05
株式会社カネカ	700	3.05
大阪有機化学従業員持株会	697	3.04
鎮目泰昌	686	2.99
鎮目歳子	638	2.78
安川義孝	603	2.63
株式会社日本触媒	596	2.60
東亜合成株式会社	521	2.27

(注) 出資比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数(22,927,352株)を基準に算出するとともに、少数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式構成



株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	毎年2月
基準日	
定時株主総会関係	毎年11月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年11月30日
中間配当金受領株主確定日	毎年5月31日

公告の方法 電子公告
<http://www.ooc.co.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-0044 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
 電話 0120-094-777 (通話料無料)

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

- 電話 (通話料無料)
 0120-244-479 (本店証券代行部)
 0120-684-479 (大阪証券代行部)
- インターネットホームページ
<http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

単 元 株 式 数 100株
 (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式事務手続き

特別口座に口座をお持ちの株主様 各種のお手続き、ご照会は特別口座管理機関および株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部へお問合せください。

特別口座から一般口座への振替請求

単元未満株式の買取(買増)請求

住所・氏名等のご変更

特別口座の残高照会

配当金の受領方法の指定

郵便物等の発送と返戻に関するご照会

支払期間経過後の配当金に関するご照会

株式事務に関する一般的なお問合せ

証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続き 口座を開設されている証券会社等にお問合せください。



ホームページアドレス <http://www.ooc.co.jp/>